1

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH

六本木カラー渓谷

INSTARATION BY SPREAD

2019年
10月18日（金）～
11月4日（月・祝）
東京ミッドタウン（六本木）
ミッドタウン・ガーデン

SPREAD EXHIBITION 2019

クリエイティブユニット SPREAD よりこの秋開催する個展とインスタレーション、2 つのエキシビションご案内です。
「カラーとコンセプト」を特徴に、あらゆる記憶を取り入れ "SPREAD ＝広げる " を生み出すことを信条とし、
グラフィックやプロダクトをはじめ、国内外のエキシビションなどデザイン&ディレクションを行う SPREAD。
10 月 18 日よりスタートするインスタレーションでは、「六本木カラー渓谷」と題して、
東京ミッドタウンのミッドタウン・ガーデンを会場に「色景に浸る」をコンセプトにした色鮮やかでダイナミックな渓谷を出現させます。
翻って 10 月 31 日よりはじまる個展では、「観賞用コントラスト」と題して、
色の奥に潜む光と闇のコントラストを探る実験によって生まれたスタティックな作品を発表、色の景色の本質を探ります。
是非ご注目ください。

2

SPREAD SOLO EXHIBITION

観賞用コントラスト

2019年
10月31日（木）～
11月23日（土）
(PLACE) by method

PRESS CONTACT:　daily press　川村 美帆　mihokawamura@dailypress.org　03-6416-3201

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH

1.「六本木カラー渓谷」INSTARATION BY SPREAD

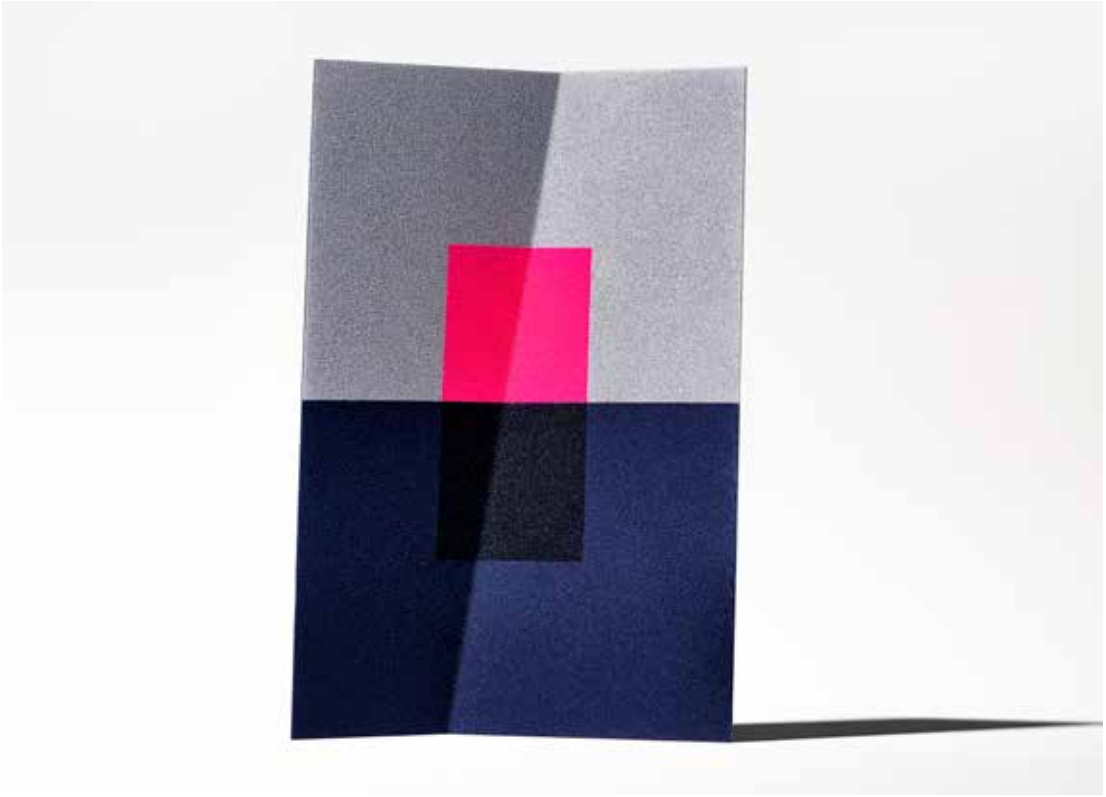
会期：2019 年 10 月 18 日（金）～ 11 月 4 日（月・祝）
会場：東京ミッドタウン（六本木）ミッドタウン・ガーデン

" デザインを五感で楽しむ " をテーマに毎年秋に東京ミッドタウンで開催するデザインイベント「TOKYO MIDTOWN DESIGN TOUCH」。クリエイティブユニット SPREAD は、本イベントのメインコンテンツである「デザインの森」の中で、「六本木カラー渓谷」と題したインスタレーションを担当。「色景に浸る」をコンセプトに、東京ミッドタウンのガーデンエリアを、全長 1km ものカラフルなファブリックで覆い、色鮮やかな渓谷を出現させます。

渓谷の着想は、そこを通る人々の動き・流動の重なり

創作活動において普段から、場所の記憶を探り、その場所とのコラボレーションを考慮した手法をとる SPREAD。21_21 DESIGN SIGHT につながる道でもあるミッドタウン・ガーデンは、彼らにとって馴染みのある場所でした。本作の創作にあたり、あらためてその場所で観察をするとそこには、カップルや、家族連れ、ペットの散歩する人や休息をとっているビジネスマンがいたりと、実に多様な人々が心地よさそうに過ごす愛された場所であることを再認識。東京ミッドタウンの土地は、江戸時代は萩藩の毛利家下屋敷、明治時代には陸軍駐屯地となり、終戦後には米軍将校の宿舎、日本に返還された後は防衛庁の檜町庁舎として、400 年あまりの歴史の上にあります。その場所には、そこを通る人々の生活とともに、それぞれの感情や記憶があると感じました。普遍的な場所でありながら、絶えず動き続けている人々の流れ、流動の積み重なっているその場所を、雄大な山々や海の景色など一瞬として同じ時間はない自然の中で見られる風景のイメージと重ね合わせました。ミッドタウン・ガーデンの場所の性質が今までの記憶を持ちつつ、ガラリと変わる何かをと、色の渓谷のイメージが浮かんだと話します。

本作は、ミッドタウン・ガーデンのスペースを、幅 2.5m、全長 1 km 以上もの彩どりのメッシュのファブリックで覆い、渓谷に見立てました。山頂から森、さらに緑の芝生へと続く気流が流れるようなデザインになっており、メッシュの透け感のある素材によって、風で動いた時など本来のガーデンの景色も垣間見れ、自然の風景と融合します。渓谷の色景は、この地が生まれてからここを通過した人々の身体に流れる動脈と静脈をイメージした赤、青の 2 色を軸に構成。この場所を通る人々は、色に包まれる感覚を体験いただきます。これまで漠然と眺めていたガーデンの風景を色に変換して「カラー渓谷」を表現することで、色や場所が持つエネルギーを感じていただきたいと思っています。刻々と移りゆく陽の光によって、様々な表情をみせるカラー渓谷、この期間、様々な色景に浸ってください。



photo_Satoshi Yamaguchi

SPREAD SOLO EXHIBITION

2. 観賞用コントラスト

会期：2019 年 10 月 31 日（木）～ 11 月 23 日（土）
会場：（ PLACE ）by method

クリエイティブユニット SPREAD は、2019 年 10 月 31 日（木）～ 11 月 23 日（土）の期間、（ PLACE ）by method を会場に個展を開催いたします。色が人々に与える情報を整理し、デザインとして昇華していくことで、これまで色にまつわるさまざまなプロジェクトを展開してきた SPREAD。彼らが創作活動の中で、色のセレクトや構成同様に強く意識する「コントラストが美しい」ということ。本展は、SPREAD の次なるクリエーションの試みとして、彼らが大切にしているコントラストの美しさの原点を探り、掘り下げ、考究し " コントラストの観賞 " をテーマに作品を作りました。大小様々なスチールプレートの表面に異なるテクスチャーを施し、色をのせた作品の数々は、来場者の感覚を覚醒させ、色の奥にあるものの観賞を誘発するでしょう。

観賞用コントラスト

私たちが認識するすべての色景は無数に存在する光の波長がつくりだしている。たとえば木々に宿る葉は陽光から赤や青を吸収し、緑だけを反射してその色を届ける。やや乱暴な見方ではあるが、色の正体は光であり、光と影が色景をつくりだしているのだ。本展は、色の奥に潜む光と闇のコントラストを探る実験だ。

朝焼けや夕焼け、飛沫をあげる波間、遠くに広がる山の稜線、凹凸を描く岩肌ー
自然の中で見られるこれらの風景を眺める時、そこに一瞬として同じ時間はなく、それゆえ私たちは飽きることなく風景を眺め続けることができる。私たちは、こうした無数の色からなる風景に潜む光と闇のコントラストを見ているのではないだろうか。

古くから人類は光と闇のコントラストに美しさを見出し、色を描いてきた。数多くの名画にもそれは顕著だ。たとえば 17 世紀を生きたレンブラントとフェルメールは、光と闇を描くことで絵画に写実性と奥行き、そして静止した絵画にドラマティックな時間を与えている。また絵画ともども、光で色を描くのが映画や写真だ。レンズに渡されたフィルムが光を受けてスクリーンに絵を映し出すシネマトグラフの仕組みを発明したリュミエール兄弟は、偶然にもフランス語で光という名を冠している。

私たちはこれまで多くの色景を巡ってきた。ここでは光と闇のコントラストをすくい取り、色の景色がもつ本質を探りだそうと考えている。

EXHIBITION OUTLINE

タイトル：　Tokyo Midtown DESIGN TOUCH「六本木カラー渓谷」
会期：　2019 年 10 月 18 日（金）～ 11 月 4 日（月・祝）
※荒天中止
会場：　東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン
東京都港区赤坂 9 丁目 7 – 1　TEL.　03 3475 3100
https://www.tokyo-midtown.com/jp/

DESIGN TOUCH プレスツアー
プレスツアーに合わせ、会場にて SPREAD より作品についてお話させていただきます。
日時：　10 月 18 日（金）10：00 ～（約 1 時間予定）
プレス受付：　東京ミッドタウン プラザ B1 インフォメーション前
※雨天決行・荒天中止 / 時間外もご取材いただけます。
お問い合わせ：　東京ミッドタウン ＰＲ担当　TEL：03-3475-3141

タイトル：　SPREAD 個展「観賞用コントラスト」
英語表記：　SPREAD Solo Exhibition / Contrast for Appreciation
会期：　2019 年 10 月 31 日（木）～ 11 月 23 日（土）
会場：　（ PLACE ）by method　東京都渋谷区東 1-3-1 カミニート 14 号
TEL.　03 6427 9296　http://wearemethod.com
レセプションパーティー：
2019 年 11 月 1 日（金）　19:00 ～ 21:00

PROFILE

SPREAD（スプレッド）

小林弘和と山田春奈によるクリエイティブ・ユニット。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れ「SPREAD ＝広げる」クリエイティブを行う。「カラーとコンセプト」を特徴にグラフィック、プロダクト、エキシビションのデザイン & ディレクションに広く関わり、常に社会提案を心がける。2017 年には「国立新美術館開館 10 周年」記念ビジュアルのデザインを手掛け、主な仕事に、「Biology of Metal」(ロンドン) 工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」、空間デザインツール「HARU stuck-on design;」、コスメブランド「Celvoke」「F organics」、CD ジャケット「相対性理論／正しい相対性理論 」、ストールブランド「ITO」、「萩原精肉店」VI など。2004 年より、生活の記録をストライプ模様で表す「Life Stripe」を発表して注目を集め、スパイラルガーデン（東京、2012 年）、ミラノフォーリサローネ（イタリア、2012 年～ 2014 年）、Rappaz Museum（スイス、2014 年）、在スイス日本国大使館（スイス、2015 年）、茨城県北芸術祭（日本、2016 年）などで個展を開催。主な受賞歴に、red dot design 賞、iF design 賞、D&AD 賞、ドイツデザイン賞、Pentawards、アジアデザイン賞、グッドデザイン賞、日本パッケージデザイン大賞、読売広告大賞ほか。

Life Stripe
世界各国の人々の 1 日の行動を 21 色のカラーに置き換え、様々な色彩のパターンで表現するアートワーク。

燕三条 工場の祭典
金属加工を中心とした地場産業集積地の新潟県燕三条地域の名だたる工場を開放するイベント。アートディレクションを担当

HARU stuck-on design;
色を貼るという発送で生まれた貼ってはがせる空間装飾テープ。クリエイティブディレクションを担当。

天と地をつなぐランドスケープ 渦展
ランドスケープアーキテクト上山良子のドローイング展のプロジェクトディレクション及び図録アートディレクションを担当。